

「他の人もやってるのに」

平成 30 年 12 月
立川女子高等学校
カウンセラーだより裏面

今年のハロウィンは、渋谷に集まった仮装した人たちが大騒ぎして、近隣の住民に迷惑をかけたり、中には逮捕された人がいたりという、悲しいニュースが多かったように思います。本来ハロウィンは楽しい行事のはずなのに、こういうことが続いてしまうと、ハロウィンという行事そのもののイメージまで、悪くなってしまいそうです。



私たちは一人にいる時に、石を投げて窓を割ったり、停まっている車を横倒しにしたりしません。ですが、群衆の中の一人になってしまうと、行動も変わってきます。誰か一人が石を投げれば、ついつい自分も石を投げたくなってしまうものだそうです。人間はそこにたくさんの人がいるという理由だけで、感情的に興奮しますし、強い人間になったような錯覚を起こします。その上、「他の人もやっている」という理由で、悪いこともしてしまうし、犯罪行為を行ってしまうこともあるようです。渋谷に集まった人の中には、こういう気持ちになってしまって、普段なら決してしないような犯罪行為をしてしまった人もいられるかもしれません。



「他の人もやっている」という言葉は、魔法のように私たちの理性を壊してしまうこともあります。「他の人もやっているのに、私だけが怒られる」と言って不満に思う人もいます。しかし残念ながら「他の人もやっている」という理由で、自分の罪が消えることはありません。

例えば、Aさんが罪を犯して、逮捕されたとします。もしその時、Aさんが「他の人も悪い事しているのに、警察官は私だけを逮捕した」と主張したら、Aさんは許してもらえるでしょうか。Aさんを逮捕した警察官は間違っているのでしょうか。答えはノーです。

他の人が罪を犯したとしても、Aさんがきちんと反省をし、償いをするまで罪は消えません。Aさんが「他の人だってやっているのに」という不満を持ったとすれば、それはAさんの心の弱さから来る気持ちだと言えます。そして、もしAさんが、自分だけが逮捕されたことで、逮捕した警察官を恨むことがあったとすれば、それは逆恨みでしかありません。

例え、群衆の中にいたとしても、他の人も違反を行っていたとしても、そして例え多くの人が間違ったことを主張したとしても、自分の罪や過失は消えません。「他の人もやっているのに」と不満を言う前に、一度冷静になって、自分がしたこととしっかりと向き合い、よく考えることが必要です。そして、自分の間違った行為をきちんと反省する強さを持てるように努力していきたいと思えます。

自分が悪い事をしてしまった時、それを認めることはつらいことです。落ち込みますし、自信を失うかもしれません。ですが、長い目でみると、こうしたつらさを乗り越えた分だけ、私たちは更なる成長を遂げることが出来るような気がします。

